

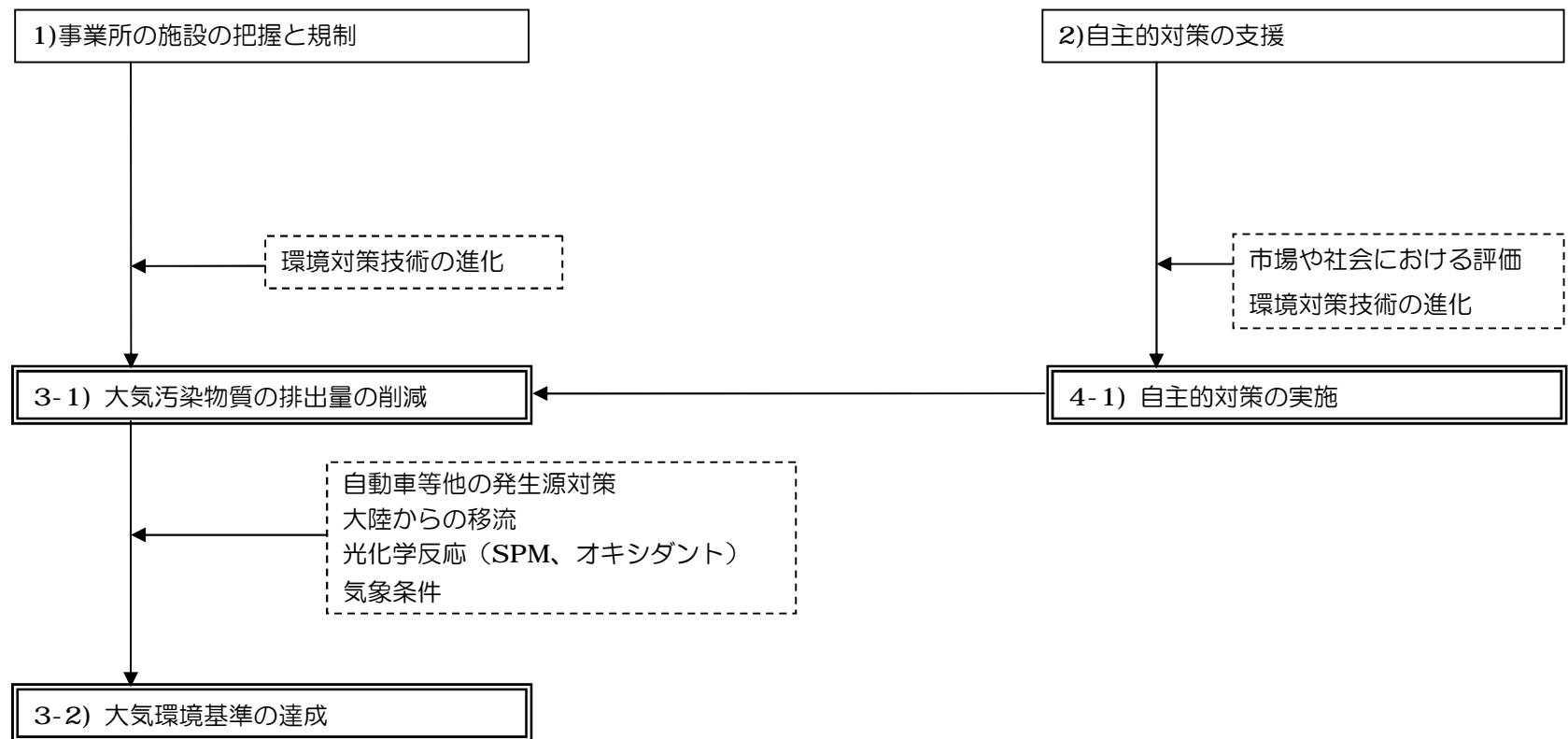
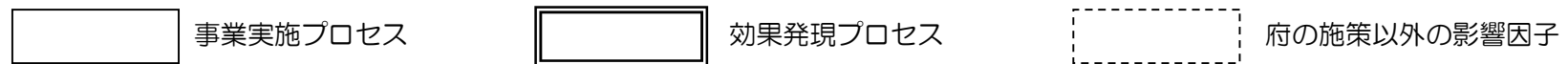
2014年（平成26年度）複数年サイクル点検評価レポート【施策評価】

分野名	Ⅱ-4(1) 健康で安心して暮らせる社会の構築（良好な大気環境を確保するために）	施策No.	16	施策名	固定発生源対策の推進
-----	--	-------	----	-----	------------

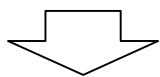
目的、内容	工場等の固定発生源対策の推進 NOx：法・条例規制等による排出量の削減、自主的な負荷削減への取組み促進 VOC：大規模排出事業所に対する排出基準遵守指導、光化学スモッグ発生時における排出削減指導、自主的取組の促進				
副次的効果、外部効果等					
関係法令、行政計画等	大気汚染防止法：ばい煙（ばいじん、NOx、SOx）、一般粉じん、VOC 府生活環境の保全等に関する条例：ばいじん、有害物質、特定・一般粉じん、VOC 第9次大阪地域公害防止計画 大阪府における窒素酸化物の排出抑制に係る推奨ガイドライン（2012年度～）：過去の関係要綱を統合 大阪府化学物質適正管理指針：VOC 排出抑制				
国等の政策、社会情勢等	平成24年12月中央環境審議会答申「今後の揮発性有機化合物の排出抑制対策の在り方について」				
施策実施に要したコスト（職員人件費を除く）	事業のコスト（千円）	2011年度（決算額）	2012年度（決算額）	2013年度（決算見込額）	
	環境目的の事業費	本施策が主たる目的であるもの	3,813	2,512	1,529
		本施策が従たる目的であるもの	28,311	28,373	26,832
	環境以外の目的を含む事業費		0	0	0
取組指標及び実績（施策効果の定量評価）	名称	把握方法	実績		
	① VOC 届出排出量	PRTR 法に基づく届出排出量をもとにした集計値	10.9 千 t/年（2010 年度実績）、10.3 千 t/年（11 年度実績）、9.9 千 t/年（12 年度実績）		
	② 化学物質（VOC 除く）届出排出量	同上	大気への化学物質排出量（VOC 除く）：0.4 千 t（2011 年度）、0.4 千 t（12 年度）		
	③ 環境認証取得率	環境省「環境にやさしい企業行動調査」（全国データ）	上場企業：79.3%（2010 年度）、80.3%（11 年度）、84.8%（12 年度） 非上場企業：53.3%（2010 年度）、52.2%（11 年度）、53.9%（12 年度）		
	④ 一般大気測定局の環境保全目標達成率	府環境白書データ	二酸化窒素の環境保全目標（1 時間値の一日平均値 0.06ppm 以下）非達成局の比率：0%（2011～13 年度） 浮遊粒子状物質の環境保全目標非達成局の比率：82%（2011 年度*）、0%（2012～13 年度） ※2011 年 5 月 2～3 日に大阪を含む広い地域で黄砂が観測され、2 日連続で基準値を超過したことによる。		
工程表の進捗状況	工程名	進捗状況*	主な事業の名称	事業の実施状況	
	NOx 等ばい煙対策				
	排出事業者に対する排出抑制指導・規制（新たな知見に基づく項目・規制値の見直しを含む）	☆☆	大気汚染防止規制指導事業	届出指導・審査、立入検査による改善指導等 立入検査の件数 1,415（2011 年度）、1,007（12 年度）、1,054（13 年度） （2011～12 年度にかけて市町村への権限移譲により減）	
	事業者による自主的な負荷削減への取組みの促進	☆☆	化学物質対策推進事業	事業者に対する化学物質の大気中への排出削減の適正管理の指導助言（施策 No.24 参照）	
			EMS 構築に関する情報提供等の支援	大阪府 EMS ポータルサイトによる情報提供	
	VOC対策				
	大規模排出事業所に対する排出基準の遵守指導	☆☆	大気汚染防止規制指導事業	届出指導・審査、立入検査による改善指導等	
	光化学スモッグ発生時における排出削減要請	☆☆	光化学スモッグ対策事業	緊急時対象工場への NOx 削減要請のべ 1,493 回（2013 年度）	
	化学物質管理制度を活用した事業者による自主的取組の促進	☆☆	化学物質対策推進事業	事業者に対する排出削減の適正管理の指導助言	
			EMS 構築支援	（再掲）	
※進捗状況：☆☆☆計画以上の進捗/☆☆計画どおり/☆計画以下の進捗/△計画とは異なる事業内容で進捗					
評価	評価	理由等			
	施策目的の達成状況	順調に推移している			
	事業・工程の進捗状況	計画どおり進捗			
計画見直し又は改善事項	見直し・改善点の有無	見直し・改善点の内容等			
	目標	無			
	施策の方向・主な施策	無			
	工程表	無			
	その他の改善事項	無			
関係課室	環境管理室				

環境総合計画部会委員による点検（所見）	点検評価手法の適正さについて 点検評価の手続きについては、概ね妥当である。しかし、以下の点でさらに検討することが望ましい。 ・取組指標と実績欄はアウトプットの視点からであり、アウトカムの評価指標の導入が望ましい。 ※対応・修正済	評価結果について 評価結果については、概ね妥当である。しかし、以下の点でさらに検討することが望ましい。 ・各工程のアウトプット(実施数＝実施状況)とアウトカムの定量的な相関の明確化	計画の見直し又は改善方針について 見直し・改善点の有無については概ね妥当である。しかし次の点でさらなる検討が必要。 ・施策の目標としてアウトカムが何かという点の明確化と明示。
---------------------	---	--	---

【施策実施プロセス】



事業実施プロセス	具体的な手法	指標 (アウトプット)
1) 事業所の施設の把握と規制	届出の受理、審査、立入検査の実施	立入検査件数
2) 自主的対策の支援	EMS 確立、ISO14001 等認証取得の説明会・相談会 ホームページの情報提供	セミナー参加者数等



効果発現プロセス	府の施策以外の影響因子	指標 (アウトカム)
3-1) 大気汚染物質の排出量の削減	環境対策技術の進化	VOC 排出量 化学物質届出排出量
3-2) 大気環境基準の達成	自動車等他の発生源対策 大陸からの移流 光化学反応 (SPM、オキシダント) 気象条件	一般大気測定局の環境保全目標達成率 (NOx、SPM)
4) 自主的対策の実施	市場や社会における評価	環境認証取得率 (全国のデータ*のみ、参考値)

※環境省「環境にやさしい企業行動調査」